

第40回 全国へき地教育研究大会

義務教育課



みちのくの小さな学校
歴史に花咲くふるさとがある
元氣な笑顔の子らが
力いっぱい 伸びている
教師よ 教師よ 太陽となって
あすをつくる夢を育てよう

(「へき地教師の歌」から)

第四十回全国へき地教育研究大会は、本県にとって第七回大会（昭和三十三年）以来、三十三年ぶりに二回目の開催である。十月十六日～十八日の三日間にわたり、県内九会場（全体会を含め）で、全国各地から一、七二八名の参加を得て、盛大に

別表1 研究推進の基本構想

		全国主題	福島主題	各学校研究主題
		ふるさとを愛し 主体的に生きる	実践力をもって 主体的に生きる	心豊かな 知・徳・体の調和のとれた教育計画の樹立と実践 時間の効果的運動
学校・学級経営		○地域と共に高まる教育理念の創造と具体化。 ○地域社会の教育力に着目した、活力のある学校の創造 ○地域の自然・文化を生かした、個性豊かな学校経営。	○子ども一人一人を生かす経営理念の確立と教育計画の樹立	
学習計画		○地域の自然・歴史・文化を教材化した、個性的な指導計画の作成。	○小規模校の特性を生かし、指導の個別化や学ぶ力を育てる指導計画の作成。 ○集団化と個別化を明確にした指導段階の確立。	○創造性・自主性を育成するための効果的な時間の運用計画と実践
指導方法		○自主的学習・体験的学習・作業的学習の重視 ○地域の優れた人材の活用	○学習過程・学習形態・学習資料の最適化を図り、一人一人を生かす授業を工夫し実践する。 ○自ら学ぶ態度を身に付けさせ、集団の中で共に高まり合う授業を工夫し実践する。	○創造性・自主性を育成するための効果的な時間の運用計画と実践

研究協力校の活動

- 研究発表校との連携を図り、実践検証活動を行う。
- 1. 研究発表校との共同授業研究による検証
- 2. 研究主題追究のための資料提供
- 3. 「ふるさと学習」の実践と資料提供
- 4. 研究協議会への役割協力

行われた。各分科会場においては、それぞれの主題に沿ってへき地の特性を生かした活発な授業が公開され、中味の濃い研究発表や活発な意見交換が行われた。

福島主題

「ふるさとを愛し、実践力をもって主体的に生きる心豊かな子どもの育成」

2、福島大会の位置付け

この大会は、全国へき地教育連盟第三次五カ年研究推進計画の三年次で典型化期の最終年度に位置している。また、新学習指導要領の移行期でもあり、新教育課程に基づく典型を創り出す時でもある。

3、本県へき地教育の課題

教職員のへき地教育に対する経験年数の不足やへき地校勤務年数の短

1、研究主題 全国主題

「郷土を愛し、たくましい実践力をもって主体的に生きる心豊かな子どもの育成」
へき地・小規模・複式学校の特性を生かした学校・学級経営と学習指導の深化充実を求めて